

テーマ：『 こども昆虫館，こども水族館の充実 』

福岡市立 那珂小学校

Tel. 092-431-4979 担当者： 佐久間 寛道



■実践内容：

- 児童が自然に関する理解や観察活動を深めるとともに，児童が自然への愛着を深めることができるよう，こども昆虫館・こども水族館を充実した。
- こども水族館の充実を図り，前年度，上・中流域と下流域の2つの大型水槽での展示であったが，今年度は，上流域，中流域，下流域の3区分にして，3つの大型水槽で展示した。
- こども昆虫館の中の昆虫飼育コーナーを前年度より充実し，秋の鳴く虫を数多く展示した。

■実践成果：

- こども昆虫館・こども水族館を充実したことで，昆虫や魚に関する理解や観察活動が深まった。
- こども昆虫館は，低学年の昆虫の学習に利用され，授業内容の充実につながった。
- こども昆虫館には，昆虫飼育コーナーの中に，前年度よりも多くの秋の鳴く虫(コオロギ，スズムシ，クツワムシ，マツムシ)の飼育箱を設置したため，音楽「虫の声」に出てくる本物の虫の観察にも利用され，音楽の興味関心をより一層高めることにもつながった。
- 昆虫飼育コーナーでは，卵からの観察が可能となった。
- 児童の自然への愛着が深まった。

■実践ポイント：

- こども昆虫館の昆虫標本は，地元福岡にこだわり，本校職員が協力して，福岡県内の昆虫を採集し，標本化した上で，展示している。
- 昆虫飼育コーナーで展示している昆虫も，本校職員が協力して，採集したものである。
- 昆虫に卵を産ませることができたので，卵からの観察が可能となった。
- こども水族館は，本校の近くを流れる御笠川，那珂川の上・中・下流域に生息する魚を，3つの大型水槽(長さ180cm)にいれ，流速，水温を設定した上で，上・中・下流域の魚類が観察できるようにした。